会議記録

●会 議 名　令和８年度　第２回丹波市社会教育委員の会議

●日　　時　令和８年８月 20 日（木）13：30～15：30

●場　　所　市役所本庁第２庁舎　ホール

●出 席 者　別添「出欠票」のとおり

●内　　容

１　開会（社会教育・文化財課長）

２　あいさつ（議長）

３　テーマ研究

「地域の大人が学びながら関わる場づくりと、関わる人を増やす方策」
～地域学校協働活動を通じて～

（１）「地域学校協働活動」の展開に向けた取組について（提言）と
丹波市における地域学校協働活動の現状・今後の方向性

【事務局から説明】

【質問・意見】

議長	前回の会議で決めたテーマ研究のテーマについて、アウトプットが明確にできていないので、テーマを修正したいと考える。今日の会議で変更するものではないが、今後の会議での議論を経て徐々に修正したい。 まず先ほどの事務局からの説明も含めて、委員の皆様の「分からないこと」を減らしていきたい。
委員	地域コミュニティ活動推進員は、自治協議会の拠点施設に在席されている方ですか。
社会教育・文化財課副課長兼係長	はい。そのとおりです。
議長	例えば地域学校協働活動と学校運営協議会の違いは分かるか。
社会教育・文化	丹波市地域学校協働活動ハンドブック７ページを用い

財課副課長兼係長	て説明。

（２）地域学校協働活動の取組事例

ア　竹山小学校【委員】

竹田小学校と前山小学校が統合して、竹山小学校になった。

学校運営協議会での学校と地域の話し合いを経て地域学校協働活動の取組を進めてきた。

見守り班、防災学習班、イベント班の３のグループで取り組んでいる。

地域の方が読み聞かせ、クラブ活動でボランティアとして関わってもらっている。クラブ活動ではこどもたちが実施したいと思うクラブと、地域の方が指導できるクラブを立ち上げた。具体的にはイラスト、ボードゲーム、木工、スポーツ（バドミントン・サッカー）を４回実施した。

また、有機農業の農家の見学や地域の企業である西山酒造場さんも運営協議会委員なので、その協力も得て田植え体験も実施した。その他には防災学習もいろいろな方に関わってもらって実施している。

統合前の前山小学校の時から始まった取組で、「竹山リゾート」という行事を竹山小学校でも実施している。１学期の懇談会の時期にプールの水面にござを引いてその上を走る「ござ走り」やヨーヨー釣り、PTA や地域の方 70 名に関わってもらって行う大イベント。

地域の方に関わってもらう中で、竹田と前山の地域を超えた取組になっている。

イ　東小学校【委員】

東小学校の PTA 会長になってから学校に関わり始めて、現在は地域学校協働活動推進員をしている。

PTA 会長として出席した学校運営協議会は、学校に問題提起するような会議だった。

地域学校協働活動推進員として学校運営協議会の進め方について校長と相談し、保護者世代の方や企業の方にも関わってもらいながら、地域学校協働活動ハンドブック７ページのように、地域の方が関りやすい会議体になるよう取り組んでいる。

この取組が発展して、「東っ子トゥエルブ」（地域学校協働活動をする団体）を立ち上げて活動を始めた。

地域づくり交付金（地域学校協働活動）は生郷振興会が会計を担うので、「イクサポ」（地域学校協働活動の活動費を管理する団体）を設置して活動している。東小学校の地域学校協働活動は、この３つの団体と学校で取組を進めており、「東っ子トゥエルブ」も「イクサポ」も地域コミュニティ活動推進員がメンバーに入ることで、学校と地域が同じ方向を向いて活動している。

地域学校協働活動ハンドブック 27 ページに掲載されているように、６年生にどんなクラブをしたいかヒアリングをした。児童から 40 くらいの意見をも

らい、その中から８つのクラブを立ち上げた。毎年６年生は入れ替わるので、令和８年度は前年度と異なる内容のクラブを立ち上げた。
　自治振興会が地域住民を募って、地域をめぐる行事を実施した際に児童の参加が少なかった。児童が地域を案内する側になるよう、小学校にクラブを立ち上げた。児童が案内役となり、地域の謎解きを実施している。
　カフェクラブを作る際には、地元飲食店に協力してもらい、パフェの作り方から販売価格の設定まで学んだ。
　パワーアップフェスティバルとマラソン大会を廃止し、マラソン記録会にして、保護者の参加を得た。空いた時間で綱引きやストラックアウトも実施した。これらは保護者や学校運営協議会で決定した。
　校長室で意見交換する時間を確保して次の活動を相談しながら、皆さんに関わってもらっている。

ウ　青垣小・中学校【委員】
　青垣地域の４小学校が統合して青垣小学校が誕生し 10 年が経過した。統合のタイミングでコミュニティ・スクールモデル校として学校運営協議会の委員を依頼し、組織した。
　学校運営協議会は学校からの依頼に応える形になっている。青垣小・中学校からは地域の方への講師依頼が年間 75 件ほどあり、私自身年間 40 日ほど出席している。10 年以上コミュニティ・スクールに取り組む中で、そろそろ役員の交代も必要だと考えている。
　青垣地域は自治協議会が４組織あり、それぞれ共通する課題もあるが、異なる課題もある。
　中学生と県立氷上西高校の生徒にボランティアを呼びかけて、小学生と一緒に八宿祭り（地域行事）に参加してもらっている。
　読み聞かせボランティアの方々に学校からお礼の言葉をいただいているが、本に興味を持つ児童が増えたなど、読み聞かせの結果どうなったのかというフィードバックが無いように感じている。ボランティアとして継続的に関わってもらう上で、目に見えた成果を教育委員会が示してほしい。

【質問・意見】

委員	ボランティアを募集した時の応募状況は？
委員	こちらから声を掛けないと、自分から手を挙げてくれる方は少ないと感じている。見守りや読み聞かせ等、具体的な項目を示して声掛けしている。
委員	ボランティア募集のチラシを全戸配布しているが、難しさは一緒。東っこサポーターや PTA 等の関係団体に声掛けして、秋に開催したパワーアップフェスティバルに約 40 人関わってもらっている。 未就学児の保護者が入学前に小学校に関わってもらえ

	るように声を掛けて参加してもらっている。
委員	青垣地域も１月頃にチラシの全戸配布や、地域学校協働活動推進員や学校運営協議会委員が声を掛けてボランティアを募り、約 35 名の方に登録いただいた。 高齢の方が多く、新たな方を呼び込む必要がある。
委員	東小学校のクラブ活動に参加するのは何年生か？
委員	参加するのは４年生から６年生で、希望するクラブの種類は６年生にヒアリングした。
議長	ボランティアに登録していただいた際、活動前に何か伝えていることはあるか？
委員	授業のサポートでは、地域学校協働活動推進員と先生で打ち合わせをして、必要人数等の連絡が届き、その後、地域学校協働活動推進員と教頭先生が連絡しながら進めている。 校区内に出かける時は、先生だけでは負担が大きいので、地域の方も一緒に同行してほしいと依頼がある。
委員	これまでから継続している活動は、先生が事前に説明される。
委員	募集・企画については、学校と調整を行い、チラシを全戸配布して内容を説明している。
議長	事務局の説明や地域学校協働活動推進員をされている委員からの話を聞いて、感じたことを付箋に書いてください。 地域学校協働活動推進員の役割や学校との関り、学校がどのように関わっておられるか等、地域学校協働活動について分かったことを「A」として、わからないことを「B」として付箋に記入してください。
議長	それでは、何名か発表をお願いします。
委員	学校のニーズと地域の方をつなぐのが地域学校協働活動推進員であり、地域学校協働活動推進員の大変さが分かった。 行政の関りが今後どうなっていくのかが分からない。

社会教育・文化財課副課長兼係長	学校運営協議会だけで解決できないような課題に対して行政として関わったり、各学校運営協議会や自治協議会の動きに伴走して支援していきます。
委員	私は３年前まで市内の中学校で勤務していた。地域学校協働活動が始まり、地域の方がボランティアで学校に関わってくださることで、教頭先生が忙しくなっては本末転倒だと思う。 この活動でこどもがどのように変わったか、成果を求めてしまうが、そこまではなかなか難しいと感じている。
学校教育課長	これから校長先生になる前の段階である教頭先生に向けて、地域学校協働活動に関する研修を行った。 学校運営協議会は根付いてきているが、学校によって進み具合に差が生じている。 育てたいこども像を共有することや、地域づくりの方向などについて学校と地域で話し合いができるよう、学校管理職に伝えることが教育委員会学校教育課の役割だと思う。
副議長	学校での困りごとはどのように解決されているのか。
委員	学校で問題が起こった場合、まずは学校長が対応されている。学校運営協議会の委員が関わってもいい案件であれば関わるようにしており、地域学校協働活動推進員、三役や各委員に意見をもらって対応している。
委員	私はスクールサポートスタッフとして、毎日学校に行っているので、先生から困りごと等の相談を受けることがある。
委員	学校運営協議会を中心に相談するので、会長・副会長兼推進員と青垣小と青垣中の校長先生と教頭先生が集まって相談する。
委員	いろいろな立場があることが勉強になった。 私自身が長く地域の役員をしており、取組の中で地域のこどもの成長を見ることができる。その取組の効果は20年後くらいに現れることがあるので、関わっている大人は無理せず長く続けることが大事だと思う。 地域学校協働活動推進員の魅力や続けることのやりが

	いも知りたい。
委員	私は長く学校運営協議会の会長を続けているので、そろそろ会長ではなくボランティアとして関わろうと考えている。
委員	こどもが楽しい学校生活を送ってほしいという思いから、地域学校協働活動に関わっている。
委員	大学を卒業して帰郷した際、地域のために何かしようと思ったことが原点。
委員	学校運営協議会と地域学校協働活動の違いを理解することができた。 私が住む崇広小学校の現状について知りたい。
社会教育・文化財課副課長兼係長	これまでは学校支援を中心とした活動が展開されてきた。令和７年度中に地域学校協働活動推進員が交代されてからは、学校支援の取組に加えて、柏原自治協議会との連携を模索されている状況。
委員	地域によって取組に違いがあることが分かった。 地域学校協働活動が導入される前から取り組んでいるような事業もある。それらも含めてどのように実態調査をされているのかなと思った。 地域学校協働活動推進員が他の地域の取組や実践を知ることも重要だと感じた。関わる人がやりがいや楽しいと感じないと継続は難しいだろう。
議長	私はボランティアのやりがいや、ボランティアマネージメント、気持ちよくボランティアしてもらうことがポイントだと思った。 委員の皆様はここまでの話を聞いて、重要だと感じたポイントを３つ「Ｃ」の付箋に書いていただき、本日の全体討議をいったん終了します。

４　その他

（１）全国・近畿・県等関連行事

⇒次第参照

（２）各課からの連絡事項

⇒案内チラシにより各種事業を紹介

（３）その他

・次回：令和８年 10 月 22 日（木）午後に開催　※会場は未定。

５　閉会（副議長）

令和８年度　第２回丹波市社会教育委員の会議

出　欠　表

NO	氏　　名	住　　所	
1	足　立　　進	氷上地域	出
2	足 立　まゆみ	春日地域	出
3	荒 木　伸 雄	氷上地域	出
4	梅 垣　真 紀	柏原地域	出
5	梅 谷　浩 子	氷上地域	出
6	髙 橋　典 子	市島地域	出
7	竹 岡　郁 子	山南地域	出
8	土 田　光 一	柏原地域	欠
9	橋 本　崇 史	青垣地域	出
10	橋 本　千 英	青垣地域	欠
11	伏 田　尚 徳	市島地域	欠
12	細　見　　勝	春日地域	出
13	松 井　崇 好	氷上地域	出
14	森 奥　和 代	山南地域	出
15	山 内　順 子	春日地域	出